

平成24年12月、116箇施設580人の方にアンケートを配布し、395人の方にご回答いただきました。

資料 1 3

◎あなたの職種を教えてください

職種	人数
施設長・所長	74
事務職員	61
ケアマネジャー	41
社会福祉士	13
指導員	33
介護福祉士	73
医師	0
看護師・保健師	66
計	361

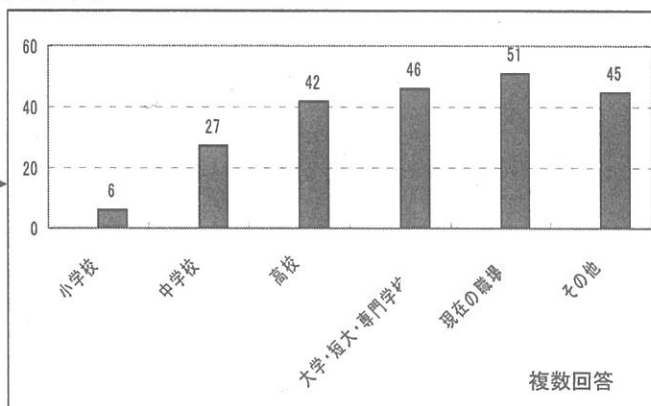
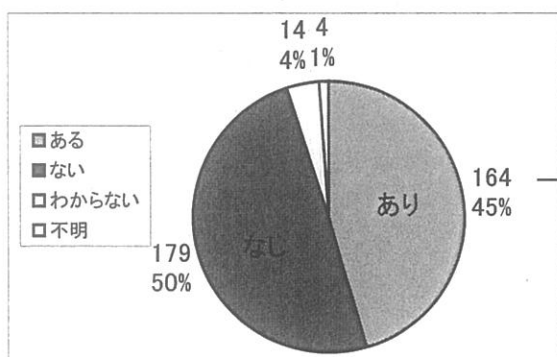
事務職グループ 135名

福祉職グループ 54名

ケア職グループ 172名

今回は職種「その他」、「未記入」の方以外の方の回答(361件)についてご報告します。

◎HIV/エイズに関する授業や研修を受けたことがありますか？



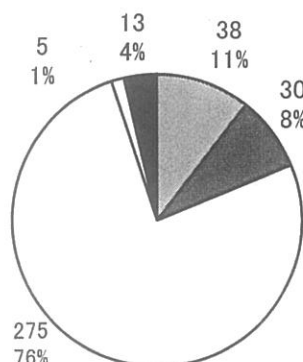
授業や研修の有無別に患者・感染者の受け入れ意思の割合をみると...

		利用受け入れ意思		計
		あり	なし	
教育・研修	あり	104 72.7%	39 27.3%	143 100.0%
	なし	95 65.1%	51 34.9%	146 100.0%
計		199 68.9%	90 31.1%	289 100.0%

n.s.

HIV/エイズに関する授業や研修を受けたことがある人は約半数でしたが、受けたことがない人も約半数いることが分かりました。なお、授業や研修の受講の有無によってHIV感染者・エイズ患者の受け入れに差はありませんでした。

◎HIV感染者やエイズ患者にサービスを提供したり、会ったりしたことがありますか？



- ☐ サービスを提供したことがある
- ☐ サービスを提供したことはないが会ったことはある
- ☐ 会ったことはない
- ☐ その他
- ☐ 不明

あわせて19%の人がサービス提供または会った経験がありました。

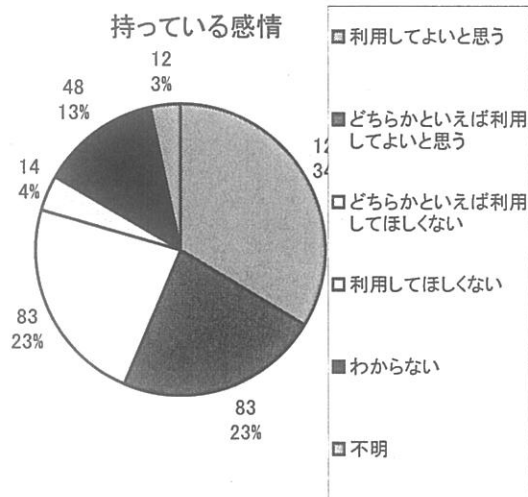
サービス提供や会ったことのある経験がある人と、ない人で患者・感染者の受け入れ意思の割合を比べてみると...

		利用受け入れ意思		計
		あり	なし	
サービス提供経験や会ったこと	あり	55 83%	11 17%	66 100%
	なし	146 64%	81 36%	227 100%
計		201 69%	92 31%	293 100%

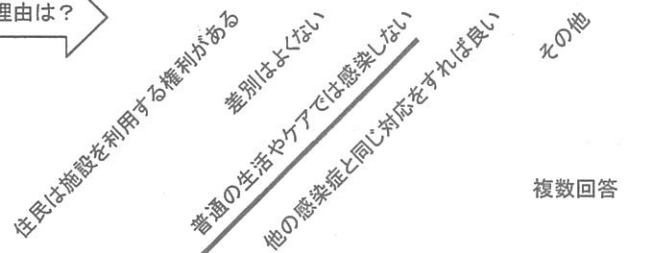
p<0.003

サービス提供経験のある人の割合は全体の11%、会ったことがある人の割合は8%と、全体の約5人に1人がHIV感染者にサービスを提供したり、会ったりしたことが分かりました。また、サービス提供または会った経験のある人はない人と比べて患者感染者の受け入れ意思の割合が高いことが分かりました。

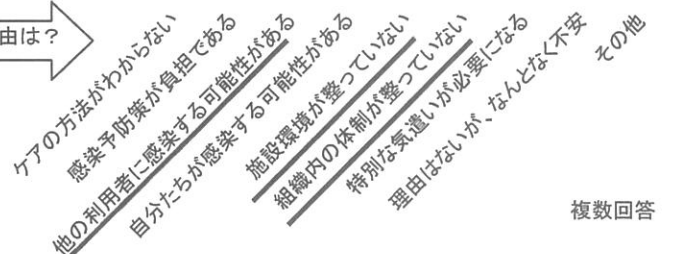
◎施設や事業所の利用を希望するHIV感染者・エイズ患者に対してあなたの持っている感情は？



その理由は？

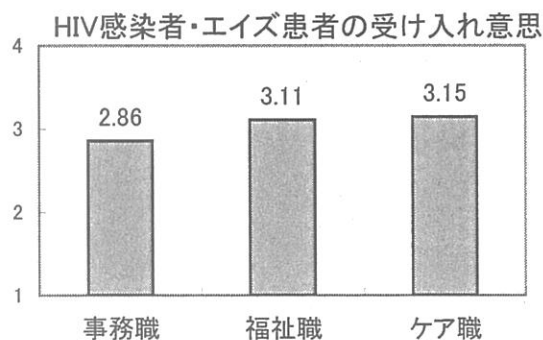


その理由は？



「利用してよいと思う」「どちらかという利用してよいと思う」と回答した人の割合は合わせて56.5%と、半数以上の方が利用に肯定的な意見を持っていました。

◎HIV感染者・エイズ患者の受け入れ意思を職種グループ別に比較すると...



n.s.

「利用してよいと思う」を4点、「どちらかという利用してよいと思う」を3点、「どちらかという利用してほしくない」を2点、「利用してほしくない」を1点として職種グループ間でHIV感染者・エイズ患者の受け入れ意思を比較しましたが、受け入れ意思に有意な差はありませんでした。

◎HIV感染者・エイズ患者が施設や事業所を利用することに対してどのような準備が必要だと思いますか？

職員が疾患について理解すること	335
職員が感染予防策を理解すること	319
利用者の健康に関する専門医療機関のバックアップ体制があること	280
利用希望者の悩みを知ること	176
職員に対する相談窓口があること	171
利用者が受診している医療機関等から、ケース紹介を受けること	164
利用者の活用できる福祉制度を理解すること	136
地域で支援ネットワークがあること	126
継続的な行政との連携があること	147

複数回答

◎HIV/エイズについて学びたいこと

パンフレットを読みたい	177
研修を受講したい	170
ホームページを見たい	92
興味がない	12
学ぶ必要性を感じない	8
その他	18

複数回答

約9割の方が、疾病の理解や感染症予防策を理解することが必要であると感じていました。また約8割の方が医療については専門医療機関との連携の必要性を感じていました。またHIV/エイズについて学びたいことについては、約5割の方がパンフレットを見たい、研修を受講したいとそれぞれ回答し、積極的に学びたいと考えていることが分かりました。